

小規模事業者 景気動向調査報告書

平成 30 年度第 1 四半期

(平成 30 年 4～6 月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通 3 丁目 5 - 1

TEL 0982 (33) 6666

FAX 0982 (33) 6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	237事業所
2. 回答事業所数	75事業所
3. 回答率	31.6%
4. 業種別内訳	
製造業	11事業所
建設業	11事業所
卸売業	4事業所
小売業	14事業所
サービス業	35事業所
合計	75事業所

5. 実施時期

平成30年 7～8月

6. 調査対象期間

平成30年 4月～6月（第1四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況を調査した（DI値の集計）。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

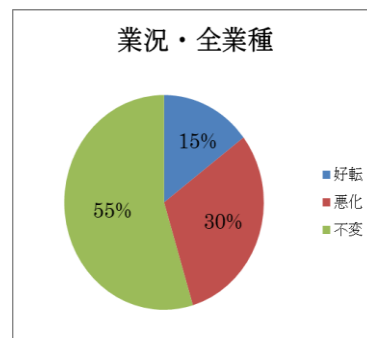
Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

前年同期比のDI値は▲16.0ポイント。

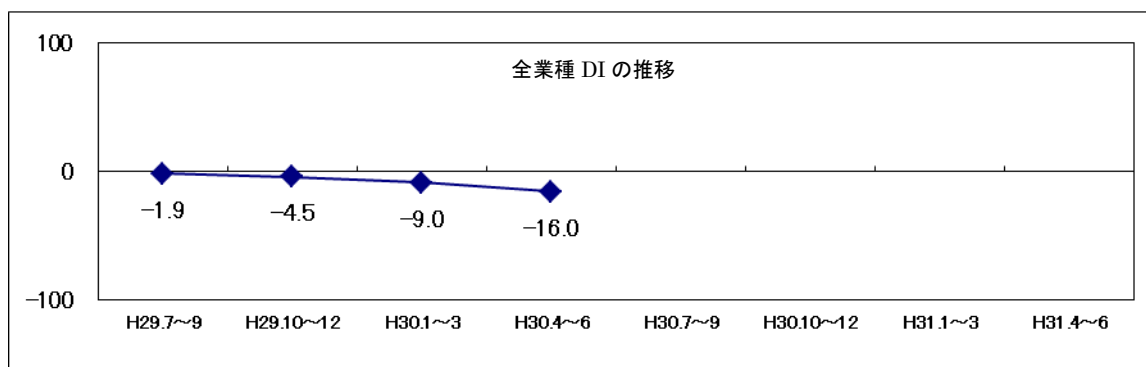
業況が好転したと回答した事業所は14.7%、悪化したと回答した事業所が30.7%、変わらないと回答した事業所は54.6%だった。

4～6月は、製造業・建設業・小売業では人件費の上昇、仕入価格の上昇等により業況は悪化。卸売業・サービス業では新規事業への参入や営業努力による売上げの増加などにより業況が改善。



来期見通し(7～9月)については、全業種において業況は改善の見通し。新規顧客の増加や公共工事の受注があるなどが要因として挙げられている。

	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9 見通し
全業種	▲1.9	▲4.5	▲9.0	▲16.0	6.7
製造業	0.0	▲25.0	20.0	▲45.5	▲27.3
建設業	21.4	16.7	0.0	▲9.1	54.5
卸売業	▲25.0	20.0	▲33.3	▲25.0	25.0
小売業	▲16.0	▲25.0	▲31.6	▲35.7	0.0
サービス業	0.0	▲2.1	▲2.6	0.0	2.9



2. 業種別の概要

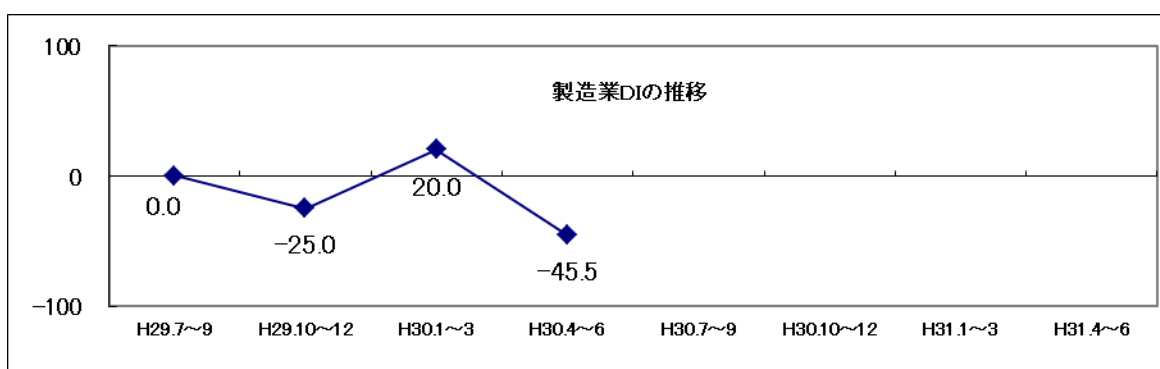
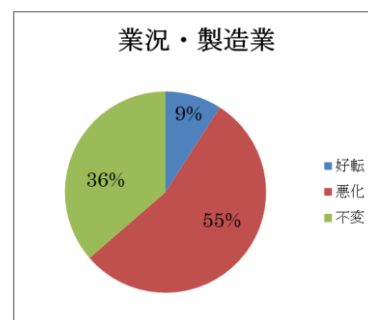
① 製造業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲45.5ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は9.1%、悪化したと回答した事業所が54.5%、変わらないと回答した事業所が36.4%だった。

製造業からは「全国的な水産物の水揚げ不漁に伴う原材料の不足により製品の供給が減った」（水産加工業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期見通しD I 値は▲27.3ポイントで、好転する見通しとなっている。



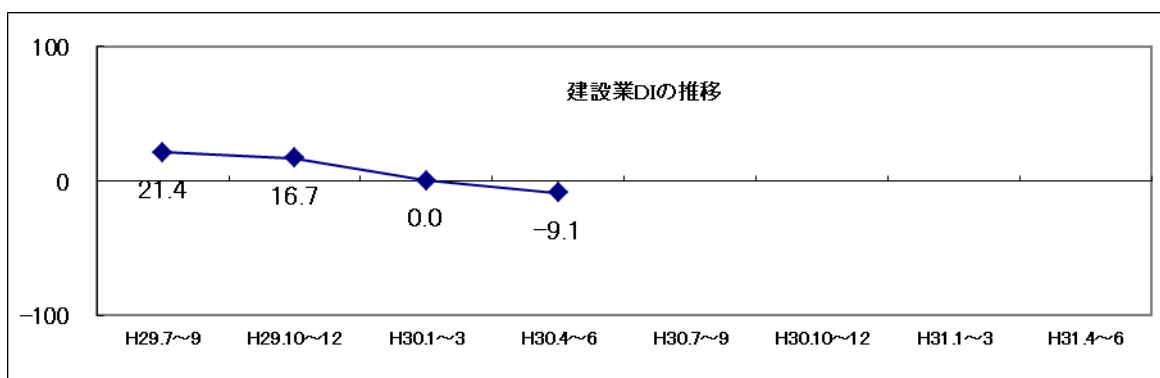
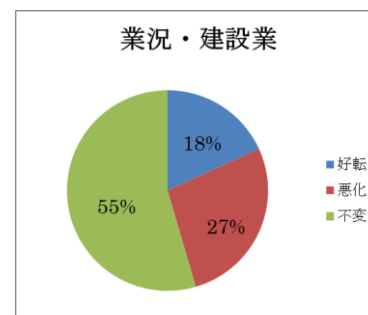
② 建設業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲9.1ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は18.2%、悪化したと回答した事業所は27.3%、変わらないと回答した事業所は54.5%だった。

建設業からは、「梅雨の影響や書類の関係で現場の着工・進行がうまくいかなかった」（一般土木工事業）、「請負受注が減少した」（一般土木工事業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期見通しのD I 値は、54.5ポイントで、好転する見通しとなっている。



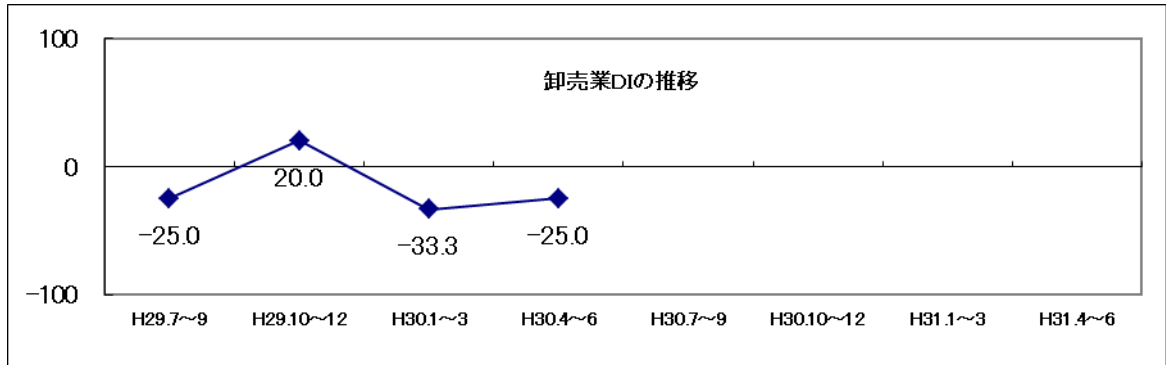
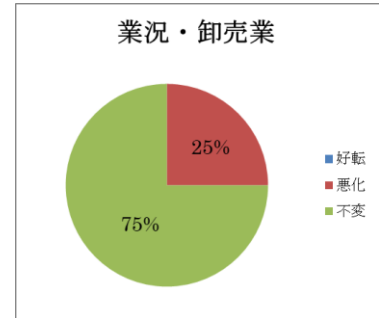
③ 卸売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲25.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、悪化したと回答した事業所が25.0%、変わらないと回答した事業所は75.0%だった。

卸売業からは、「店舗が少なくなっており納品数が減少している。」（乳製品卸売業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、25.0ポイントで、好転する見通しとなっている。



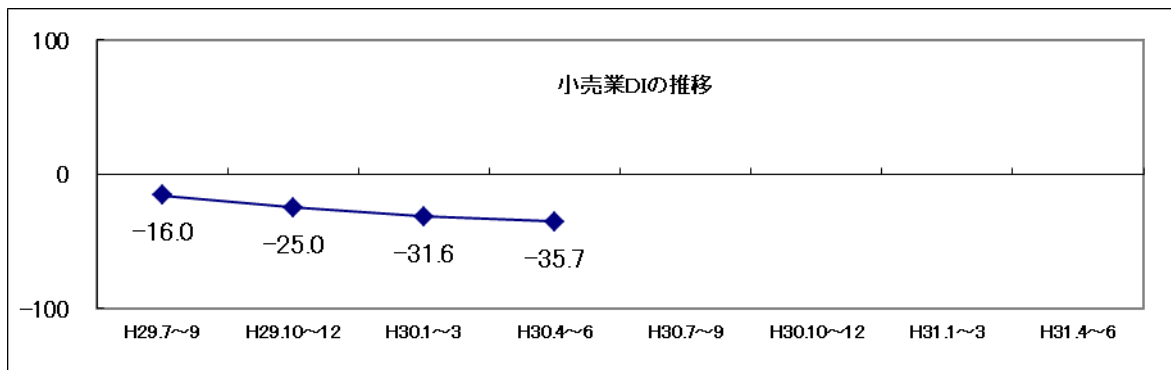
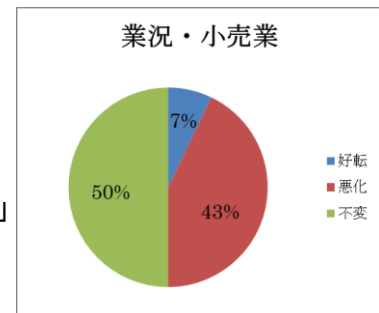
④ 小売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲35.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は7.2%、悪化したと回答した事業所は42.8%、変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

小売業からは、「売上は変わらないが仕入価格が上がっている。」（食料品小売業）や、「家庭での食費支出の減少、生鮮品の直販・通販による売上の減少に加え、人件費や経費の高騰に苦しんでいる」（食料品雑貨小売業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、0.0ポイントで、好転する見通しとなっている。



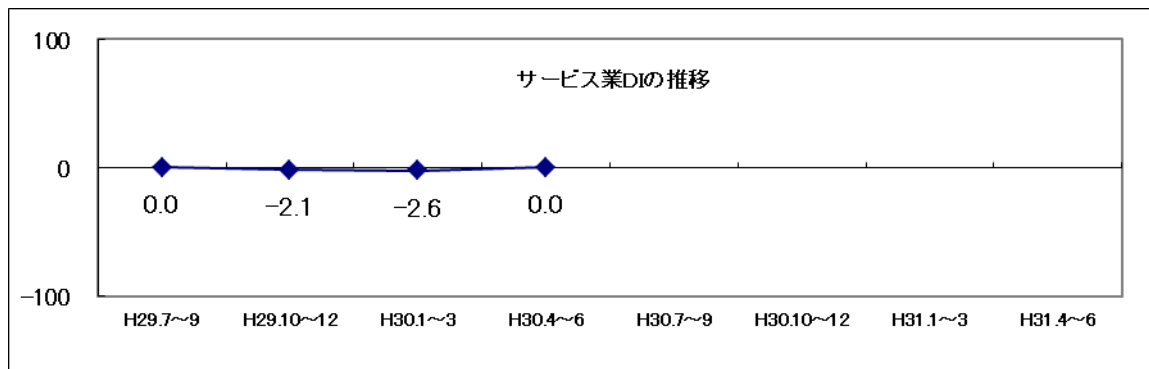
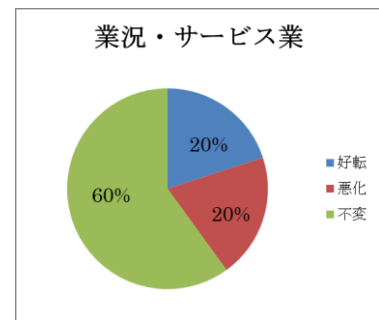
⑤ サービス業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は20.0%、悪化したと回答した事業所は20.0%、変わらないと回答した事業所は60.0%だった。

サービス業からは、「景況は悪化であるが、固定客やネットのロコミ、県外のリピーターが出てきた。」（飲食業）、「従業員を1名採用できたことが売上拡大に結び付いた。」（エステティックサロン）等が業況を示す意見として挙げられている。

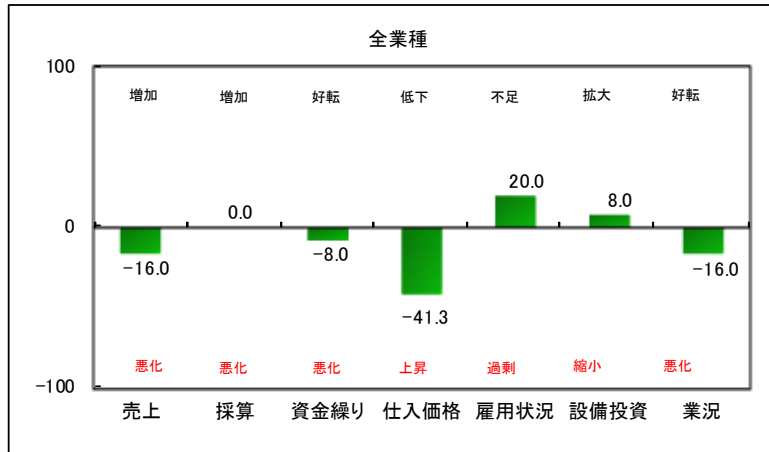
来期見通しD I 値は、2.9ポイントで、好転する見通しとなっている。



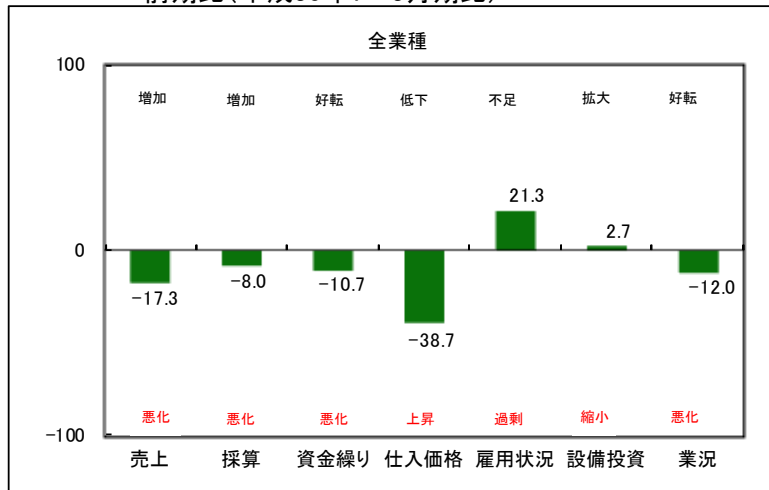
市内景気動向

全業種

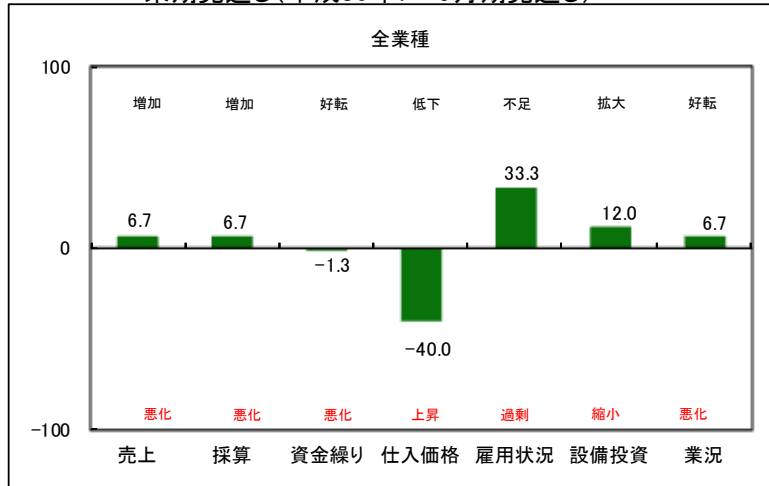
前年同期期比(平成29年4～6月期比)



前期比(平成30年1～3月期比)



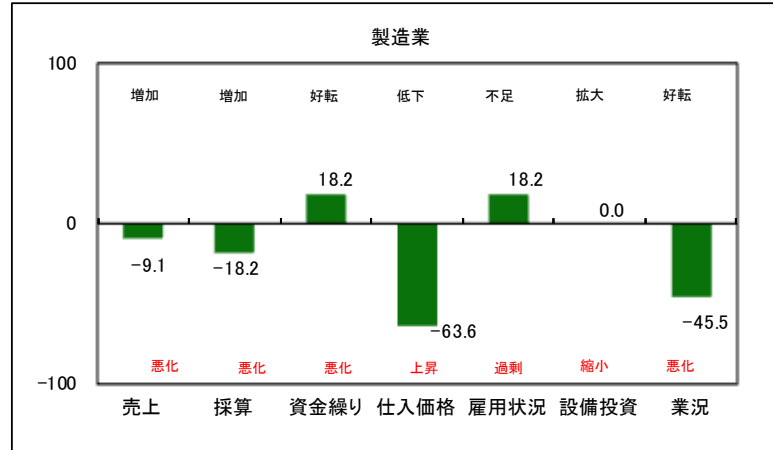
来期見通し(平成30年7～9月期見通し)



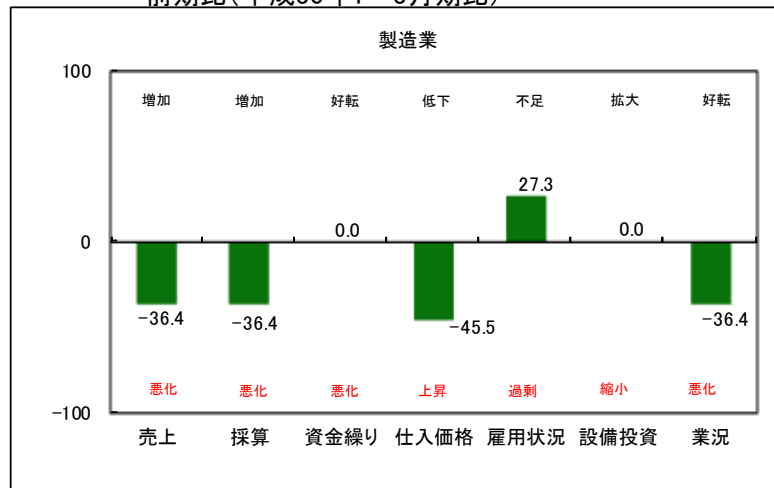
業種別景気動向

製造業

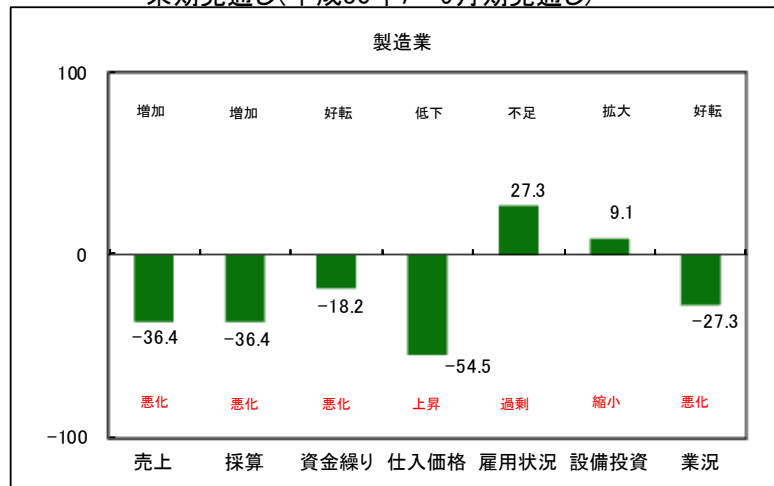
前年同期期比(平成29年4～6月期比)



前期比(平成30年1～3月期比)



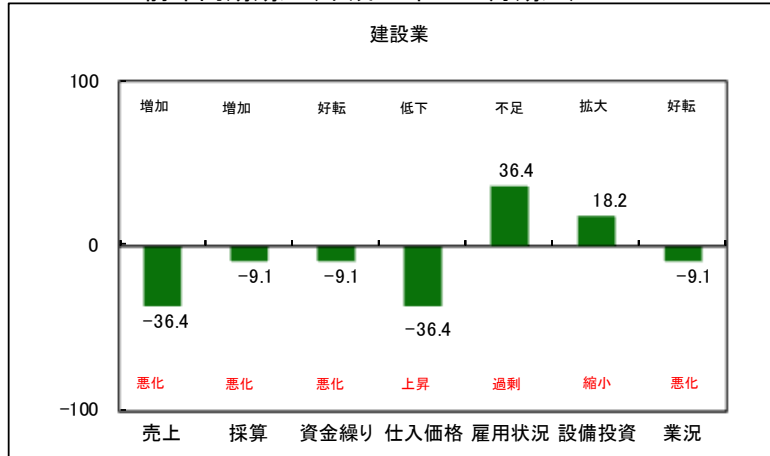
来期見通し(平成30年7～9月期見通し)



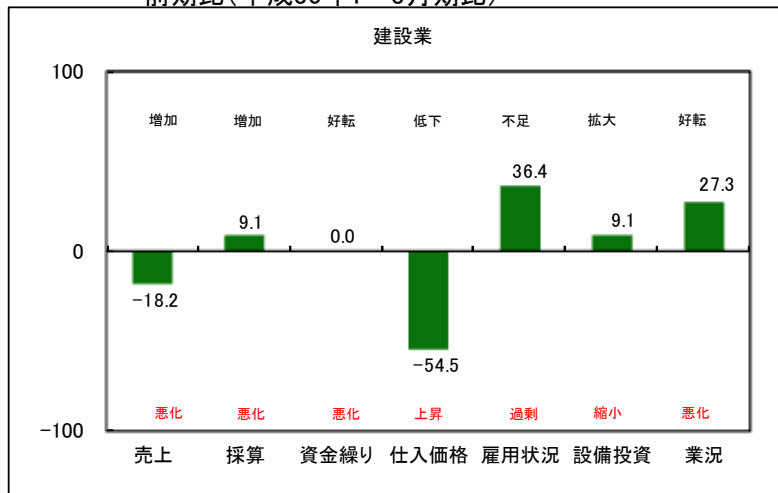
業種別景気動向

建設業

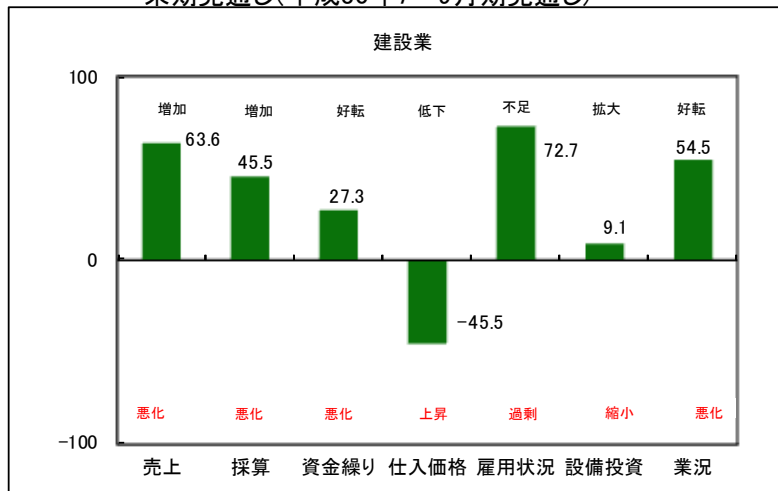
前年同期期比(平成29年4～6月期比)



前期比(平成30年1～3月期比)



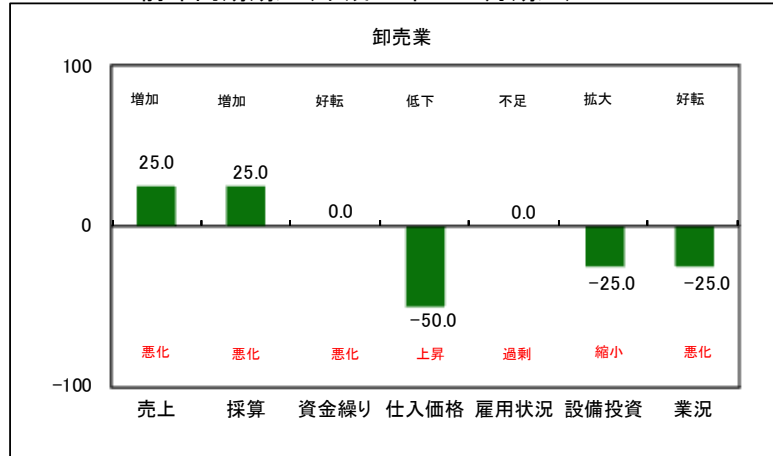
来期見通し(平成30年7～9月期見通し)



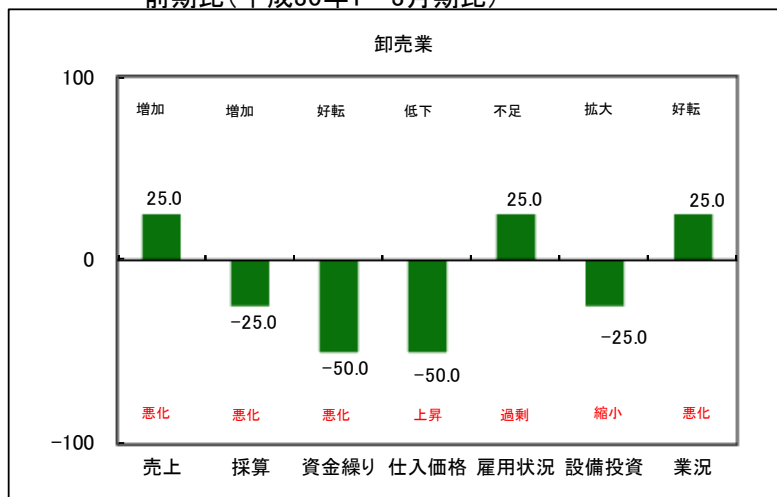
業種別景気動向

卸売業

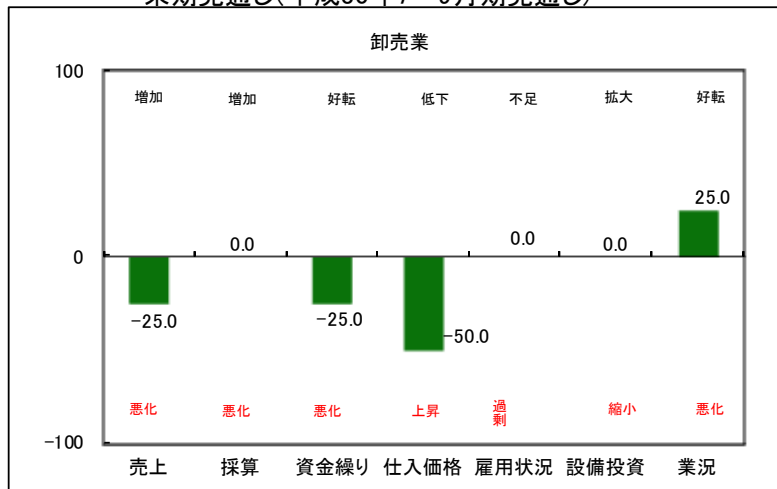
前年同期期比(平成29年4～6月期比)



前期比(平成30年1～3月期比)



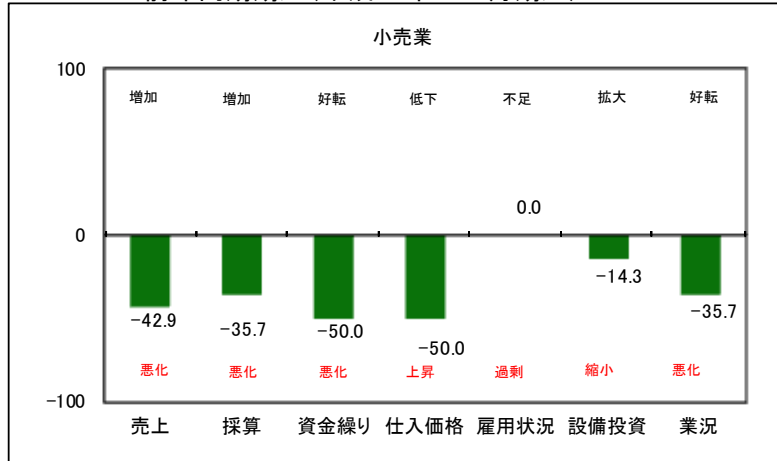
来期見通し(平成30年7～9月期見通し)



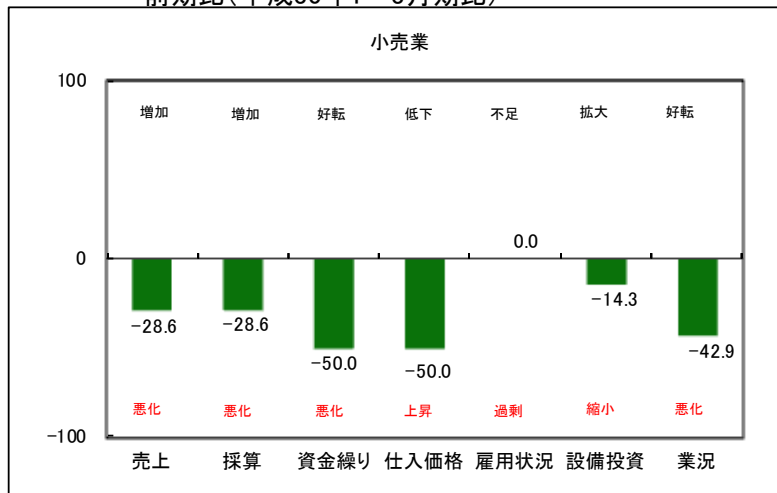
業種別景気動向

小売業

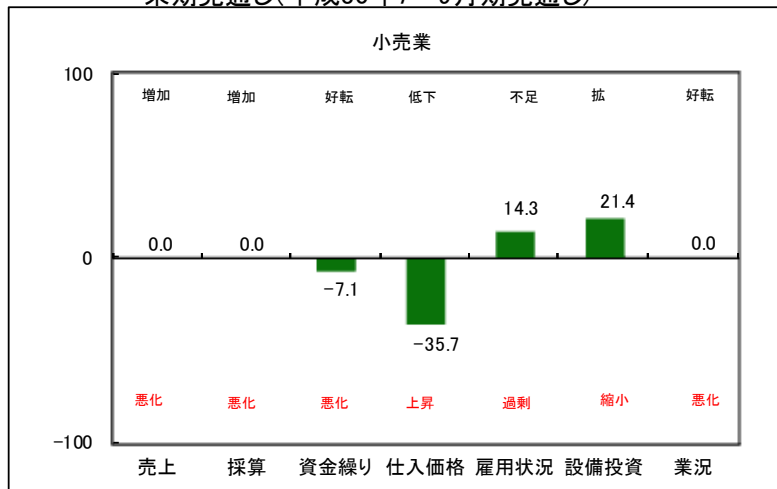
前年同期期比(平成29年4～6月期比)



前期比(平成30年1～3月期比)



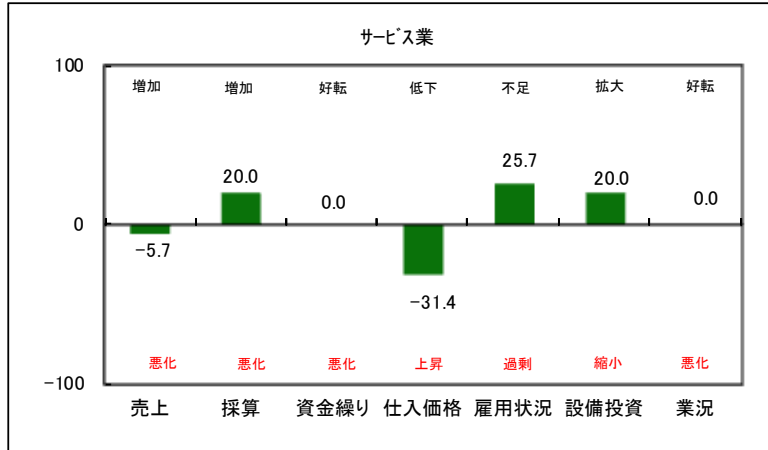
来期見通し(平成30年7～9月期見通し)



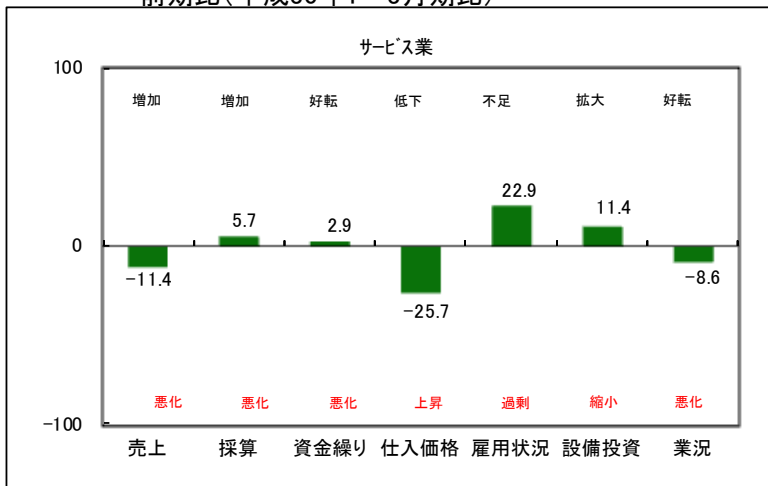
業種別景気動向

サービス業

前年同期期比(平成29年4～6月期比)



前期比(平成30年1～3月期比)



来期見通し(平成30年7～9月期見通し)

